

第10期 事業報告書

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

1. 概況報告

当会は、一般社団法人とし10期目を終えました。時代の変化に柔軟に対応しながら組織の成長を着実に進め強い使命感をもって会作りに努め会員企業へ貢献してまいりました。

本年度も、新型コロナウイルスの感染症の拡大により幅広い業種に影響を及ぼし、特に個人事業者にとっては、厳しい状況が続いていました。しかしながら、国や各自治体が行った新型コロナウイルス感染症関連の様々な経済施策によって少しずつ、状況が回復しつつ明るい兆しも見え始めています。なお、影響を受けた会員の事業継続を支え、再起の糧としていただくため、各種給付金の申請をサポートする体制を整え、実施してまいりました。

また、本年度の確定申告指導・相談会は、会員と職員の安全と健康を第一に考え、受付は完全予約制を導入し、対面での指導・相談を受けるために飛沫防止のアクリル板の設置や別室に申告会場を設けて指導・相談を実施してまいりました。

当会では、昨年に引き続きマイナンバーの適正な取扱いを行っています。個人番号の取扱いについては個人情報取扱規定を整備致しています。確定申告書にはマイナンバーの記載が義務化されていますが会員のご理解とご協力により本年もスムーズに事務処理をする事が出来ました。

また、政府は、コロナ後を見据え、浮き彫りとなったデジタル化の遅れやサプライチェーンの見直しのため、(デジタルトランスフォーメーション)を提唱し、デジタル社会の実現をめざして組織や事業のあり方を変革すべく取り組みをはじめた。当会でも会計ソフトブルーリターンAを推奨し、帳簿等の税務関係書類の電子化を推進しつつ、自らによる記帳が適切に行われる環境を整備する事業に取り組んでまいりました。なお、会員の記帳水準の向上と記帳義務の適正な励行及び電子帳簿の普及推進については、今後も全青色との連携を図ってまいります。

指導活動では、改正された税法の周知を図るとともに複式簿記を中心とした講習会の開催を致しました。また、令和5年10月から始まるインボイス制度の周知・広報及び説明会を開催し登録申請書の提出を希望された会員に対し、申請が円滑に行えるよう強力にサポート致しました。

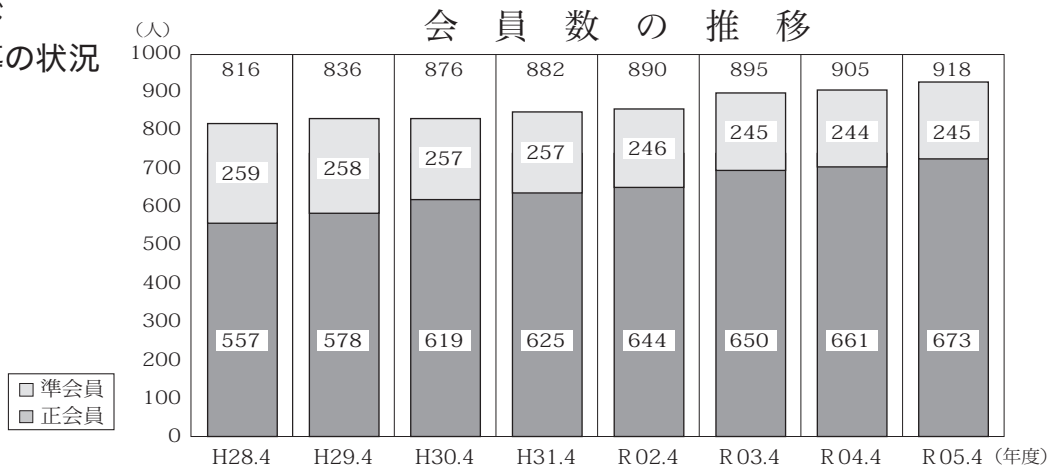
さらに会計ソフトブルーリターンAの普及を図り、青色申告特別控除65万円の適用と適正申告の推進に努めました。また、本年度も昨年に引続き5月～1月までの9ヶ月にわたり派遣税理士による無料税務相談日を月2回開設し、記帳・税務等の相談会を実施致しました。さらに確定申告期の2月1日から3月15日まで延べ30日間にわたり所得税・消費税の確定申告指導相談会を派遣税理士の支援を受け実施しました。

組織運営の強化では、青色申告制度の普及と会員増強に努め、国税局主催の記帳講習会「説明会による記帳指導」及び「会計ソフトを利用した記帳指導」を受託致しました。令和4年8月から令和4年12月まで毎月1回開催し、記帳方法の指導や決算書・申告書の作成方法について指導さらにe-Tax・マイナンバーの普及推進に努めました。

福利厚生事業等では、専門家による無料税務・法律相談会、会員親睦会、税金講座の実施や青色互助会の利用を始めとしたサービスの周知及び全国青色申告会総連合の各種共済制度の加入促進に努めました。

2. 会員及び

指導の状況



3. 活動状況

【会の現況】

組 織	会 員 数 等	入 会(就任)数 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)	退 会(退任)数 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)	備 考
会員数(正会員)	673名	41名	29名	令和5年3月31日現在
会員数(準会員)	245名	9名	8名	
計	918名	50名	37名	
役員数 (理事・監事)	理 事 28名 監 事 2名	0名 0名	0名 0名	名誉役員3名
青年部	部 員 20名	0名	2名	
女性部	部 員 18名	0名	0名	
事務局	職 員 3名	0名	0名	確定申告期アルバイト3名

【法人の運営に関する事業】

事 業 (会議) 名	開 催 (実施) 日	開 催 回 数	出席人数(全体)	備 考
監査会	4月27日	1回	5名	令和3年度事業・決算監査他
正副会長会議	4月28日	1回	11名	第9回定時総会の議案審議
理事会	5月9日・8月9日	2回	44名	令和4年度事業・財政の計画と実績報告
県連傘下青色申告会 定時総会	5月26日	1回	1名	(一社)福岡中央会
	6月24日	1回	1名	行橋会、豊前市会、苅田会
	6月3日	1回	1名	(一社)西福岡会
		コロナ感染拡大防止 のため開催の中止	0名	戸畑会
	6月29日	1回	1名	久留米会

【公益目的事業の推進に関する事業】

1. 申告納税制度の推進と納税道義の高揚に資する事業

(1) 記帳や税務等に関する説明会、指導会等を開催した事業

事業名	開催日	事業の概要	講師等	会場	周知方法	参加者	備考
						会員・一般等	
無料記帳指導会	5月16日	記帳個別指導	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	6名	
新規入会者記帳指導会	5月16日	記帳個別指導	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	11名	
インボイス制度説明会	6月23日～24日	消費税個別説明会	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	19名	
源泉徴収事務指導会	6月27日～29日	源泉納付個別指導会	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	56名	
国税局受託指導会	7月26日～12月23日	講習会	派遣税理士 事務局職員	小倉・八幡 行橋・直方 田川・飯塚	国税局・税務署	(延)	
記帳説明指導会(全25回)		説明会 25講座				(235名)	
会計記帳指導会(全35回)		会計 35講座				(386名)	
インボイス制度説明会	9月26日～28日	消費税個別説明会	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	15名	
インボイス制度説明会	11月28日・29日	消費税個別説明会	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	21名	
記帳確認指導会	10月17日～18日	記帳個別指導	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	16名	
年末調整事務説明会	1月12日～20日	年末調整個別指導	税理士・事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	43名	
決算書作成説明会	12月26日・27日	決算説明・個別指導	事務局職員	事務局会議室	HP掲載・青色だより	85名	
所得税・消費税 申告指導会	2月1日～3月15日	所得税・消費税 個別指導	派遣税理士 事務局職員	事務局	個別案内・青色だより	所得税 698名 消費税 160名	

(2) 適正申告の実践を推進するため、税務に関する相談会を開催した事業

事業名	開催日	事業の概要	講師等	会場	周知方法	相談来会者数	備考
税務相談日	5月16日 5月23日 6月6日 6月23日 7月11日 7月20日 8月1日 8月29日 9月5日 9月20日 10月3日 10月17日 11月4日 11月24日 12月5日 12月22日 1月17日 1月30日	相続税・贈与税 所得税・消費税 譲渡所得等	R4年4月～ R5年1月 戸上 幸一 税理士	事務局	HP掲載・ 青色だより	114件	
確定申告指導相談会	2月1日～3月15日	所得税・消費税 譲渡所得等	堀 税理士 戸上税理士 則松税理士 河内税理士 中上税理士	事務局	HP掲載・ 青色だより	698名	

(3) 青色申告制度の普及を図る事業

事業(会議)名	開催(予定)日	開催回数	出席人数	備考
青色コーナー相談事務	2月27日～3月10日	6	24	青色申告制度の説明及び インボイス制度概要説明を実施する。

2. 地域の振興と健全な発展に資する事業

(1) 元気な地域社会創造のため各種行事等を主催、支援、参加した事業

事業(会議)名	開催(予定)日	出席人数(延)	内容
中学生の税の作文事業	6月27日～12月7日	93	税の作文の支援、中学校へ作文募集から作文回収後の 審査をへて中学校にて優秀作品の表彰を実施する。

【その他の事業(収益事業)】

1. 事務管理を受託する事業

- (1) 国税局からの受託事業「説明会方式による記帳指導等」・「会計ソフトを利用した記帳指導等」を8月～12月まで毎月開催した。
- (2) ㈱ビジネスクリエイトによるカーリース事業等を推進した。

【その他の事業(相互扶助事業等)】

1. 機関誌や情報誌を発行する事業

- (1) (一社)全国青色申告会総連合機関誌「ブルーリターン」を月6回配布した。(全青色より2カ月分合併発刊の為)
- (2) (一社)小倉青色申告会「青色だより」を年8回発行し配布した
- (3) 事業者の経営や生活等に関する情報の提供等に関する事業

4. 上部団体との連携強化

(一社) 全国青色申告会総連合の運営に関する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数	備考
・監査会	4月21日	6回	3名	(一社)全国青色申告会総連合 監事 北部九州青色申告連合会 会長 福岡県青色申告会連合会 会長
・理事会・定時会員総会	4月26日 6月23日			
・青年部研究集会	11月21日			
・女性部研修会	11月21日			
・税制改正要望大会	11月22日			

5. 女性部・青年部の運営に関する事業

事業(会議)名	開催(予定)日	開催回数	出席人数(全体)	備考
女性部・青年部定時総会	6月7日	1回	25名	R3事業・決算報告とR4事業計画
県連女性部定時総会	6月10日	1回	5名	県R3事業・決算報告とR4事業計画
県連青年部定時総会	6月10日	1回	6名	県R3事業・決算報告とR4事業計画
中学生の税の作文 募集依頼事務	6月20日 (作文募集依頼6/27~7/1)	1回	14名	小倉税務署共催事業作文募集活動の為、各中学校へ作文用紙一式の準備及び日程調整の事務。
中学生の税の作文審査会	9月12日~13日	2回	18名	納貯・青申会・間税会・法人会合同審査
中学生の税の作文表彰式	11月28日~12月7日	15回	14名	納貯・青申会・間税会・法人会

5. 女性部・青年部の運営に関する事業

事業(会議)名	開催(予定)日	共催・日数	出席人数	備 考
第27回 女性スクール	11月8日	1日	法人会 3名 間税会 3名 青申会 13名 (計19名)	演 題 「税について」 講 師 福岡国税局課税第一部長 長内 昌三様
確定申告事務運営会議	1月11日	1日	6名	確定申告会場(AIM)・青色コーナー事務運営について
確定申告会場受付・ 青色コーナー	2/27~3/10日	6日	24名	確定申告会場(AIM)・青色コーナー 青色申告制度の説明及びインボイス制度の概要 説明を実施する。

6. 会員の福利厚生、親睦及び利便に資する事業

(1) 会員の福利厚生及び親睦に関する事業

- ① (一社)全国青色申告会総連合の各種共済制度を普及推進した。 ② 小規模企業共済制度、中小企業退職金制度を普及推進した。
③ あおいろ互助会(冠婚葬祭事業)の利用を勧奨した。 ④ 会員の親睦と交流の推進

事業(会議)名	開催(予定)日	共催・日数	出席人数	内 容
第11回青色の集い	11月1日	1日	25名	1. 令和4年度納税表彰者の披露 2. 会員増強運動表彰式 記念講演 演 題 「知っているようで意外と知らない税務(税金のこと)」 講 師 小倉税務署長 高島 敏雄様

(2) 会員の利便に関する事業

- ① 会員メリットの拡大を目的とした提携企業との共同事業の推進

(例)中村組葬儀社、アメリカンファミリー生命保険、オリックスカーリース、門司港ホテル、ステーションホテル小倉等

7. 友誼団体との連携及び協調に資する事業

(1) 関係官公署と協議、連携する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数(全体)	備考
小倉地区税務相談所との事務連絡会議	8月17日	1回	4名(14名)	小倉税務署後援

(2) 北部九州青色申告会連合会及び福岡県青色申告会連合会との連携を図る事業

事業(会議)名	開催(予定)日	開催回数	出席人数	備考
北部九州ブロック事務局会議	4月21日	1回	2名	ロイヤルチェスター伊万里(伊万里市)
県連理事会(事務局合同)会議	5月10日	1回	4名	大博多ビル(福岡市)
福岡県青色申告会連合会定時総会	6月10日	1回	10名	ANAクラウンプラザホテル(福岡市)
北部九州青色申告会ブロック研修会	7月25日	1回	4名	ANAクラウンプラザホテル(福岡市)
北部九州青色申告会定時総会	10月13日	1回	2名	ロイヤルチェスター伊万里(伊万里市)
北部九州ブロック大会	10月13日	1回	17名	ロイヤルチェスター伊万里(伊万里市)

(3) 関係友誼団体との連携を図る事業

事業(会議)名	開催(予定)日	開催回数	出席人数	備 考
小倉間税会令和4年度通常総会	5月24日	1回	1名	ステーションホテル小倉
小倉納税貯蓄組合連合会定時総会	6月15日	1回	10名	毎日西部会館
(公社)小倉法人会第9回定時総会	6月3日	1回	1名	
九州北部税理士会定時総会	6月17日	1回	1名	
小倉納税推進協力会主催 「税を考える週間」イベント	11月11日 ～17日	1回		11月～2月「小倉イルミネーション」 小倉駅前JAM広場のJAMビジョンにて インボイス制度の周知広報ビデオ放映

(4) 青色21ネットワーク研究会を積極的に支援する事業

事業(会議)名	開催(予定)日	開催回数	出席人数	備 考
役員会	4月10日・8月10日・9月22日 6月2日・11月11日	5回	6名	(WEB会議)・浜松市
研究集会	6月1日・11月25日	2回	6名	浜松市、奈良市
定時総会	11月25日	1回	5名	奈良市

第10期 令和4年度収支決算書

〈正味財産増減計算書〉

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I 一般正味財産増減の部

1 経常増減の部

(1) 経常収益

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
1. 会費収入	22,000,000	22,355,400	355,400
正会員	20,000,000	20,571,000	571,000
準会員	2,000,000	1,784,400	△215,600
2. 事業収入	26,200,000	27,350,830	1,150,830
記帳・決算指導収入	18,000,000	18,900,700	900,700
講習会事業受託収入	6,000,000	5,579,816	△420,184
全青色手数料	1,300,000	1,927,963	627,963
小規模共済手数料	600,000	554,473	△45,527
その他手数料	300,000	387,878	87,878
3. 雑収入	200,000	343,583	143,583
経常収益計	48,400,000	50,049,813	1,649,813

(2) 経常費用

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
1. 事業費	12,200,000	10,531,839	△1,668,161
講習会決算申告事業費	6,000,000	5,848,268	△151,732
IT関連推進費	1,000,000	849,598	△150,402
指導交通費	800,000	768,682	△31,318
部会研修活動費	400,000	89,534	△310,466
社会貢献活動費	200,000	126,949	△73,051
広報・会報発行費	900,000	723,064	△176,936
会議費	1,400,000	804,544	△595,456
会費負担金	500,000	361,200	△138,800
派遣税理士報酬	1,000,000	960,000	△40,000

2. 管理費		35,720,000	34,385,626	△1,334,374
	給料手当	23,200,000	22,409,150	△790,850
	福利厚生費	4,800,000	4,825,073	25,073
	退職金共済掛金	720,000	670,000	△50,000
	旅費交通費	400,000	369,110	△30,890
	通信費	1,000,000	979,461	△20,539
	図書研究費	100,000	46,484	△53,516
	消耗品費	300,000	359,063	59,063
	支払家賃	3,000,000	3,000,000	0
	慶弔・見舞金	200,000	150,417	△49,583
	租税公課	1,400,000	1,283,234	△116,766
	雑費	600,000	293,634	△306,366
経常費用計		47,920,000	44,917,465	△3,002,535
当期経常増減額		480,000	5,132,348	4,652,348

2 経常外増減の部

(1) 経常外収益

科目	予算額	決算額	増減額
経常外収益計	0	0	0

(2) 経常外費用

科目	予算額	決算額	増減額
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	480,000	5,132,348	4,652,348
法人税・住民税及び事業税	81,000	81,000	0
当期一般正味財産増減額	399,000	5,051,348	4,652,348

II 一般正味財産期末残高

科目	予算額	決算額	増減額
一般正味財産期首残高	22,353,391	22,353,391	0
一般正味財産期末残高	22,752,391	27,404,739	4,652,348

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	402,935	預り金	391,254
普通預金	30,635,160	預り出資金	6,700,000
未収入金	2,047,500		
商品	104,796		
前払金	130,332	次期繰越金	27,404,739
敷金	1,147,770		
出資金	27,500		
合計	34,495,993	合計	34,495,993

上記決算額に誤りなく適正であることを確認致しました。

令和5年4月26日

監事 岩永博行

監事 堀 健次郎

監査報告書

第10期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。

理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当であり、当該体制の運用状況につき指摘すべき事項はありません。計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

監査実施日 令和5年4月26日

一般社団法人小倉青色申告会

監事 岩永博行

監事 堀 健次郎

第11期 令和5年度事業計画書

(自令和5年4月1日～至令和6年3月31日)

I 基本方針

当会は、健全な納税者団体として、平成25年4月に一般社団法人小倉青色申告会を設立いたしました。一般社団法人としての11期目にあたりますが、引き続き、公益法人の趣旨に沿った地域社会貢献事業の推進や、会員のための幅広い事業活動の推進を目指してまいります。

本年度も、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響で経営が悪化した会員企業に対し、給付金や支援金及び融資の申請等を円滑に行えるよう強力にサポートしてまいります。

さらに、消費税インボイス制度の導入に伴い、増大が見込まれる新規課税事業者への入会を勧奨して会員増強運動を推進してまいります。

また、青色申告会のネットワークを活用して、21世紀の変革する情報化社会に対応する諸問題を解決してまいります。

会員の記帳・決算・申告については、全青色が開発したブルーリターンAを活用して、正確な記帳、適正な申告の支援を目指します。なお、会員の税務については、税理士会との派遣税理士契約に基づき、税理士による、税務相談を行い、正しい税知識の習得を図ってまいります。

II 具体的な事業活動

1. 会員の指導及び経営に関する事業

- (1) 会計ソフト「ブルーリターンA」を活用して、正確な帳簿の作成の指導を行う。
- (2) 白色申告者記帳義務化を受け、白色申告者に対し青色申告制度の周知と勧奨を積極的に行う。
- (3) 政府がすすめるICTの促進を図るため、e-Taxによる確定申告書の提出を推進する。
- (4) マイナンバー制度の周知徹底を図り、会員企業に確実に定着するよう指導する。
- (5) 税理士会小倉支部派遣税理士による税務相談日を毎月2回開設する。
なお、確定申告期間中については、税理士会小倉支部派遣税理士の監督指導のもと毎日、税務相談を行う。
- (6) 青色申告特別控除の利用については、会計ソフト「ブルーリターンA」で記帳し、e-Taxを利用して青色申告特別控除65万円を活用する。
- (7) 青色専従者給与の適正な支給など、合理的な節税方法を研鑽する。
- (8) 小倉税務署、北九州商工会議所と連携・協調を図り、記帳指導会・税法説明会・経営相談会を開催する。

2. 納税意識の高揚を目的とする事業

- (1) 女性スクールを実施して、税の勉強会を行い、税知識の普及を図る。
- (2) 色学級を開催、税知識や税の大切さを学ぶ。
- (3) 小倉納税貯蓄組合連合会と協調して事業活動を行う。また、納貯連の組織の強化を図るため、資金面においても支援する。
- (4) 青色の集いの開催。税をテーマにした講演会で、税についての知識を習得する。

3. 税制・税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

小規模個人事業者の税負担の軽減、適正公平な税制の確立に関する提言を行う。

- ① 個人事業主に勤労性を認めた青色事業主勤労所得控除の創設を要望する。
- ② 社会保障制度の抜本的な改革について提言する。
- ③ 会員の要望する税制に関する要望事項を(一社)全国青色申告会総連合の税制委員会に具申する。
- ④ (一社)青色21ネットワーク研究会でとりまとめた「税制に関する提言」を踏まえて、当会の要望

意見の参考とする。

4. 情報提供サービスに関する事業

- (1) 機関紙「青色だより」や青色申告会のホームページの内容の充実を図り、各種情報を提供する。
- (2) (一社)全国青色申告会総連合が発刊する情報誌「青色申告」を、2ヶ月に1回無料で配布する。

5. 地域社会に貢献することを目的とする事業

- (1) 確定申告期の青色申告コーナー充実強化を推進、青年部員・女性部員を派遣して、青色申告の相談や記帳の仕方、青色申告承認申請書の書き方の指導を行う。
- (2) 北九州商工会議所や小倉地区税務相談所と共催して、一般納税者を対象とした記帳講習会・記帳指導会を実施する。

6. 会員の福利厚生のための事業

- (1) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、経営者や従業員の病気や事故による死亡、高度障害、入院等を保障する最適な保険として、全青色共済制度の普及推進を図る。
- (2) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、がん保険制度を普及推進する。
- (3) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、節税にも効果のある「小規模企業共済制度」、「中小企業退職金制度」、「国民年金基金制度」等の普及推進を図る。
- (4) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、「あおいろ互助会(冠婚葬祭事業)」の利用促進を図る。

7. 会員の交流を図るための事業

会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、次の事業を行う

- ① 第10回社員総会の実施。
- ② 第12回青色の集いの実施。
- ③ 第28回女性スクールの実施。
- ④ 新春講演会及び新年賀詞交歓会の実施。
- ⑤ 青年部によるフットサル交流会の実施。

8. その他この法人の目的達成に必要な事業

- (1) 第59回北部九州ブロック大会(長崎市)への参加。
- (2) (一社)全国青色申告会総連合が開催する事業、研修会への参加。
- (3) 北部九州青色申告会連合会、福岡県青色申告会連合会が開催する事業、研修会への参加。
- (4) 青色21ネットワーク研究会が開催する研修会への参加。
- (5) 税を考える週間中に行われる各種行事やイベントへの参加。
- (6) 小倉納税推進協力会が行う各種行事やイベントへの参加。
- (7) 小倉納税貯蓄組合連合会の事業活動を支援するために、事業・財政の両面から援助する。

◎ 最重点事業の推進

- ・ 税務行政のDX(デジタル変革)が進み利便性の向上したスマホ申告を周知することで、会員事業所の従業員が行う還付申告等を支援する。
- ・ 令和5年10月から始まるインボイス制度について、登録申請書の提出を希望する会員に対し、申請が円滑に行えるよう強力でサポートする。
- ・ ウイズコロナの時代を迎え、感染症の影響で経営が悪化した会員企業に対し、事業資金融資の申請等を円滑に行えるよう強力でサポートする。
- ・ 国税電子申告・納税システム「e-Tax」の利用促進に寄与するため、昨年に引き続き資料等の情報を提供して、会員のイータックス利用拡大を推進する。
- ・ 「青色申告コーナー」活動の充実強化を図り、青色申告制度の普及と促進するとともに青色申告会のPRに努める。

第11期 令和5年度収支予算書

〈正味財産増減計算書〉

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I 一般正味財産増減の部

1 経常増減の部

(1) 経常収益

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
①. 会費収入	22,700,000	
正会員	21,000,000	
準会員	1,700,000	
②. 事業収入	28,300,000	
記帳・決算指導収入	20,000,000	
講習会事業受託収入	6,000,000	
全青色手数料	1,500,000	全青色共済・B R A販売手数料
小規模共済手数料	500,000	
その他手数料	300,000	ガン保険・自動車保険等紹介手数料
③. 雑収入	200,000	
経 常 収 益 計	51,200,000	

(2) 経常費用

科 目	予 算 額	備 考
①. 事業費	12,700,000	
講習会決算申告事業費	6,000,000	講師謝金・会場費・テキスト代
I T関連推進費	1,000,000	e-Tax・IT関連費用
指導交通費	800,000	指導交通費
部会研修活動費	400,000	女性部・青年部活動費
社会貢献活動費	200,000	納貯連助成金
広報・会報発行費	1,000,000	会報費・HP作成更新・渉外費
会議費	1,800,000	理事会・全青色・県連
会費負担金	500,000	上部団体・関連団体会費
派遣税理士報酬	1,000,000	税理士会小倉支部会員

②. 管理費		38,120,000	
	給料手当	24,000,000	役職員給与
	福利厚生費	6,000,000	社会保険料・雇用保険料
	退職金共済掛金	720,000	中小企業退職金掛金
	旅費交通費	400,000	旅費・日当
	通信費	1,200,000	電話料・資料郵送料
	図書研究費	100,000	図書購入費
	消耗品費	400,000	事務用品費
	支払家賃	3,000,000	事務所賃借料・共益費
	慶弔・見舞金	200,000	
	租税公課	1,500,000	消費税・印紙税等
	雑費	600,000	
経常費用計		50,820,000	
当期経常増減額		380,000	

2 経常外増減の部

(1) 経常外収益

経常外収益計	0	
--------	---	--

(2) 経常外費用

経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
税引前当期一般正味財産増減額	380,000	
法人税・住民税及び事業税	81,000	
当期一般正味財産増減額	299,000	

II 一般正味財産期末残高

一般正味財産期首残高	27,404,739	
一般正味財産期末残高	27,703,739	